

原発再稼動は危険！
福島原発 事故の原因は未解明

広島、長崎に次ぐ原子爆弾。
福島3号機で核爆発！

2016年06月26日(日)

藤原 節男

fujiwara_setsuo2004@yahoo.co.jp

<http://groups.google.com/group/nuclear-whistleblow-in-jnes>

<http://ja-jp.facebook.com/people/Setsuo-Fujiwara/100002324907200>

藤原 節男⇒原子力公益通報者

Nuclear-Whistleblower

原子カドンキホーテ、地動説ガリレオに匹敵

経歴：1972年大阪大学工学部原子力工学科卒業、三菱重工業、日本原子力研究所、原子力安全基盤機構⇒公益通報で、2010年4月失職⇒復職のための裁判。2010年8月、経産省記者クラブに公益通報を記事にするように要請。2011年3月8日、公益通報を記事にしない経産省記者クラブの記者たちに、警告メールを送った。「このまま公益通報が無視されている状態が続けば、明日にでもチェルノブイリ級の大事故が生じる」東日本大震災、そして福島原発事故が発生したのは、その3日後のことだった。福島3号核爆発は、原子力公益通報[泊3号減速材温度係数測定検査]と同じ原理であった。広島、長崎に次ぐ原子爆弾。

本日講演の特長

- DVD「福島3号核爆発」映像証拠の解説、論より証拠、百聞は一見にしかず。
- ヒロシマ原爆、ナガサキ原爆、ビキニ水爆実験から原子力平和利用への歴史。
- 臨界(反応度)事故、核爆発防止使用前検査の泊3号公益通報、福島3号核爆発事故、核爆発事故再発防止に無効の新規制基準

福島3号は核爆発(1)



福島3号は核爆発(2)



福島3号は核爆発(3)

oztvwatcher

www.fairewinds.com
April 26th, 2011

その他としては、噴煙の黒さでしょう
その黒さは、ウランやプルトニウムが揮発したことを意味します

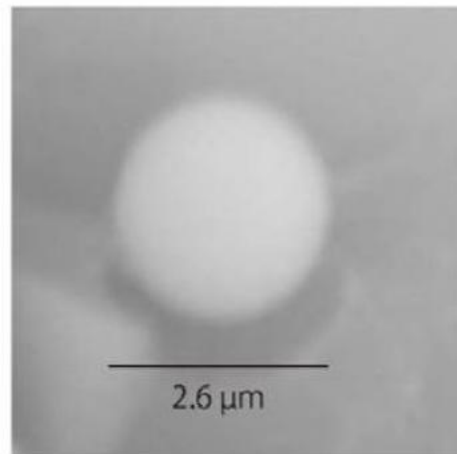
福島3号は核爆発(4)

a)



炭素ペーストに入り込んだ球体状のセシウム

b)



同じ球体状のセシウムを翌日直径を測定したもの。球形をしていた。

【出典】 Emission of spherical cesium-bearing particles from an early stage of the Fukushima nuclear accident

Kouji Adachi, Mizuo Kajino, Yuji Zaizen & Yasuhito Igarashi SCIENTIFIC REPORTS 2013年8月30日

【編集】 川根 真也

福島3号は核爆発(5)

【映像証拠】福島3号核爆発を、ただの水素爆発だったことにするよう、東電がテレビ会議で口裏を合わせている場面⇒ <http://goo.gl/Jw9uue>

2011年3月15日、福島3号核爆発直後、原子力安全・保安院が、記者会見で「水素爆発以外に何も起きていない」と言った。東電は、何の調査もせずに、原子力安全・保安院に、口裏を合わせた。状況証拠（鉄骨グニャグニャ、高さ600mもの黒いきのこ雲）を見ると、使用済燃料が、核分裂連鎖反応を起こし、核暴走し、超高温で、気化、プラズマ化した後、ミクロン単位の大さに再固化して、大気中に飛散した可能性が高い。使用済燃料が飛散した場合、多数の人が肺癌を発症することになる。

福島3号は核爆発(6)

2012年9月 05日（水）朝日新聞朝刊東京本社版17面で、2011年3月14日の福島第一原発3号機の「爆発」について、東電テレビ会議議事記録が詳しく記載ある。3号機の爆発の直後の、次のやりとりです。ただし、11:09の中性子に関しては、東電開示のテレビ会議映像からは、削除されている。

11:01 3号機で爆発

11:09 本店社員や小森常務が核分裂反応の際に出る中性子に言及。「ガンマ線は変わらないけど、中性子がちょっと出ている」。小森「中性子がちょっと……」。本店社員「なんか、でかいな。あれ。1号機の時より」

11:29 高橋明男フェローが「保安院が水素爆発と言ってるからもういいんじゃないの。水素爆発で」と提案。清水正孝社長が「はい。いいです。スピード勝負」と了承。 9

臨界(反応度)事故の危険性

- 2009年3月当時、北海道電力の泊原発3号機は、建設が終わり、使用前検査の段階。
- 電気工作物検査員として、3月4日と5日の2日間にわたって『減速材温度係数測定検査』
- 突発的に、原子炉温度が上がっても、原子炉出力を抑えることができるかどうかを判定する**原子炉自己制御性**の検査
- 原子炉自己制御性がないと、**反応度事故、核爆発、チェルノブイリでの核爆発**
- **福島3号は使用済燃料プールでの核爆発**
- **原子炉級プルトニウム(MOX燃料)には、プルトニウム240(高速中性子での核分裂性物質)含有量**が大きい。

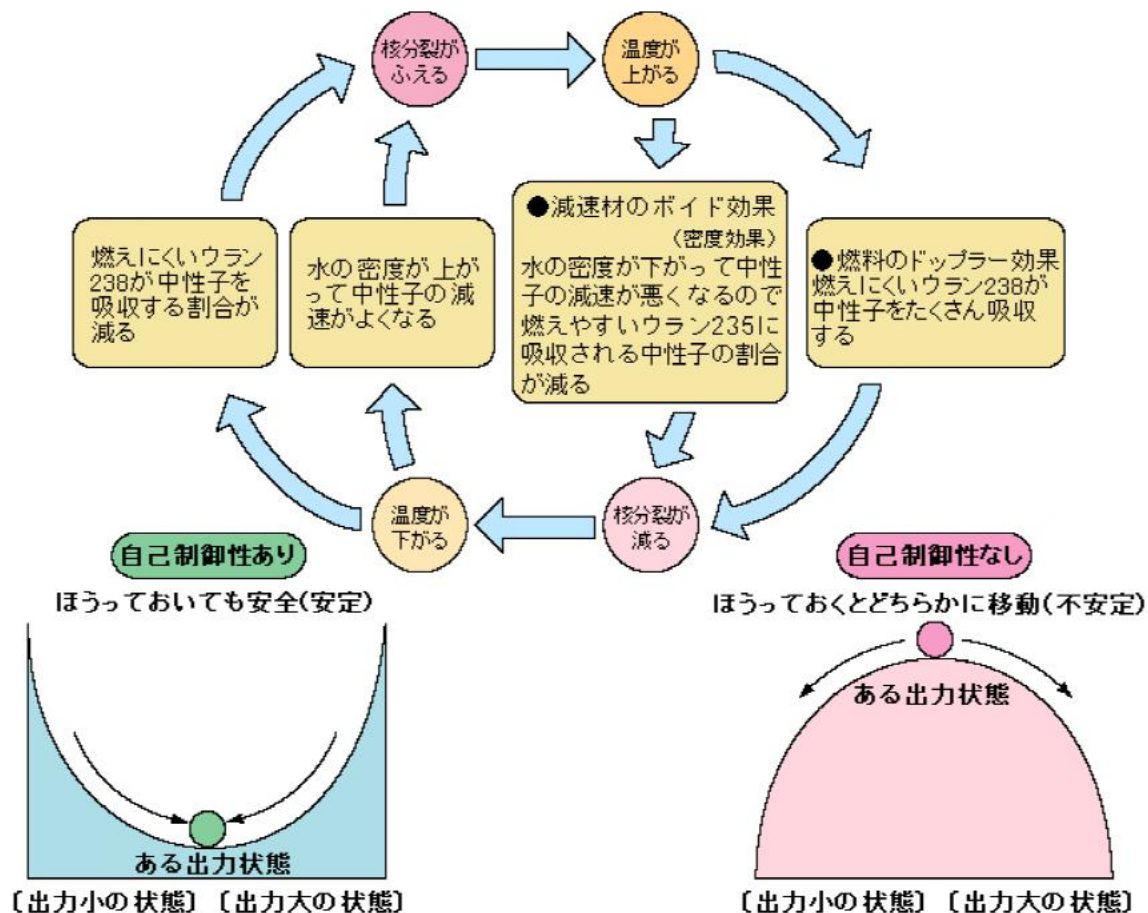


図1 原子炉の固有の安全性(自己制御性)

〔出典〕原子力文化振興財団:「原子力」図面集 2001-2002年版(2001年10月)、p.84

原子炉固有の安全性(自己制御性)

- BWRの場合、
出力上昇⇒炉心温度上昇⇒
ボイド率増加⇒出力抑制
出力上昇させる場合は再循環流量を増加
- PWRの場合、
減速材温度係数が負の場合、
出力上昇⇒炉心温度上昇⇒
一次冷却材(減速材)温度高⇒出力抑制
減速材温度係数が正の場合、
出力上昇⇒炉心温度上昇⇒
一次冷却材(減速材)温度高⇒出力上昇

減速材温度(反応度)係数が正

⇒原子炉不安定

- 2009年3月4日の検査では『負』にならないといけないこの係数が『正』。高性能燃料(55GWd/t燃料、高性能だがリスクが高い)を初装荷燃料として、日本で初めて使用。
- このまま運転すれば、臨界事故につながる危険な状態。
- 翌日3月5日は、部分制御棒挿入、ホウ酸濃度低下の対策を取って再検査。その結果、係数が『負』になったので、条件付きで合格。

記録改ざん命令

2009年3月4日の『不合格の検査記録』と3月5日の『条件付き合格の検査記録』の両方を、上司のグループ長に報告。ところが、グループ長は3月4日の検査記録を削除するように命令。これが記録改ざん命令。

◎不合格の検査記録も必要だと訴えた。グループ長は『**での悪い検査成績書の不備を指摘しているだけ。承認印は押さない**』 『**(勤務評定) 評価を絶対に下げてやる**』

◎グループ長は、原子力安全・保安院の追求を恐れ、慣例に合わない、不都合な証拠を、もみ消したかっただけ。

やむを得ず、公益通報 そして、クビ ⇒ 法廷闘争

1. 検査業務部長に公益通報⇒「記録削除不要。早急に報告書再提出せよ」グループ長と馴れ合い、記録改ざん命令は不問。
2. 機構規則[記録改ざん命令(不適合業務)再発防止対策]実施を要求⇒もたれあい、黙殺。報告書再提出が遅れたとの理由で配置転換、賞与査定⇒不利益
3. 公益通報者保護法に基づく業務改善目安箱、理事長に公益通報。原子力安全委員会及び、原子力安全・保安院の原子力施設安全情報申告調査委員会に公益通報各委員会の合言葉「原子力安全には関係ない⇒黙殺」
4. 公益通報者に不利益⇒2010年1月「再雇用しない」と原子力安全基盤機構から本人に通告。

藤原節男の原子力公益通報

- 泊原発3号機使用前検査での記録改ざん命令
- その記録改ざん命令の是正処置を行わず、問題を放置したJNES(原子力安全基盤機構)組織
- 1999年に敦賀2号機で起きた再生熱交換器連絡配管破断事故のまちがった原因説と記録改ざん
- JNES(原子力安全基盤機構)において、機構の検査ミスを報告する際に、不祥事となることをおそれ、正式外部報告書式を使用せず、簡略化した内部報告書式(裏マニュアル)で済ませていること

1999年敦賀2号、2003年泊2号

- 1999年7月、敦賀2号再生熱交換器の冷却材漏れ事故。私は、三菱重工業の事故対策本部にて、事故究明をしていた。私の原因説「**流量変動による温度ゆらぎ説**(敦賀だけではなく他の原発にも同様の事故が起こる可能性がある)」を三菱重工業幹部は黙殺。技術部長提唱のまちがった原因説「**(敦賀2号再生熱交換器だけで事故が起こる)フローパターン変動説**」を採用。敦賀2号の**模擬流動試験記録改ざん**実施。
- 2003年9月、泊原発2号機に同じ事故。やっと、私の原因説のとおり、原発の改修も行った。しかし、**まちがった原因説(フローパターン変動説)に対する反省・見直し究明が全くない**。敦賀2号の**模擬流動試験記録改ざんは隠蔽のまま**。

原子力安全に万全を期す⇒公益通報

- 妄信的、盲目的原子力推進でなく、原子力安全(原子力品質)に万全を期するのが私の考え、私の立場であった。そのための、**原子力公益通報であった。**
- 原子力技術や事故の怖さを知っている技術者が原子力発電を担うべきなのだが、今の東電のように、文系(営業主体)での経営(マネジメント)支配が問題。シュラウド問題で、技術が、経営(マネジメント)層から排除。
- **原子力村技術者は「組織の歯車」に成り下がった。**日本株式会社(原子力村支社)では、品質(安全)マネジメントシステム、PDCAが機能していない。事故再発防止システムが機能していない。
- IAEAも役に立たない。**現状は、脱原発しかない。**

その他

1. 再雇用訴訟中にも、**秘密情報開示嫌疑**で弁護士に圧力⇒本人訴訟に追い込まれた。
2. 泊原発3号機、調整運転について
75%連続出力運転検査のあと、震災。その後、100%連続出力運転検査を受けずに98%出力程度の5ヶ月間無認可運転⇒明らかな法律違反。
3. ストレストテストはもともと経済用語
ただ、耐力限界(実力値)予想計算だけ。判定基準が無い。それゆえ、耐力限界内で十分と判定して、すべてのプラントを合格させる。無意味。

内的事象

- 機器の故障・人的ミスなど、原子力施設内部の原因により発生する事象のみが原子力事故発生確率の算定対象内。

外的事象

- 地震・津波・航空機落下など、原子力施設外部の原因により発生する事象は原子力事故発生確率の算定対象としていない。

※意図的な破壊行為(テロ行為など)も、リスク算出対象外

官僚機構の体質

- 減速材温度係数『正』は稀にしか起こらない。しかし報告書不備指摘を装った記録改ざんは他件で多発。
【理由】私以外は、ドンキホーテ役を引き受けない。だれも、負けると判っている上司との戦さはしない。「長いものには、巻かれろ」「すまじきものは宮仕え」
- 過去には農水省の人(コメ検査官)が余剰で、原子力検査官に回ってきた。形式だけの検査でよい(ホンネ)。
- そもそも、原子力安全・保安院には、原子力安全に精通した人(眼力マン)はいない。電力、メーカ、検査会社から熟達者採用、実効ある検査を装う(タテマエ)。
- その他、原子力安全のため18件の改善提案をしたが、1件も採用されなかった。
- 官僚機構のタテマエは「完全無欠」、実態は「不祥事多発」 馴れ合い。チェック機能(監査、審査機能)皆無。

原子力施設安全情報申告調査委員会

- 飯塚 悦功(いづか よしのり) 東京大学
- 石島 清見(いしじま きよみ) 高度情報科学技術研究機構、元日本原子力研究所
- 大橋 豊彦(おおはし とよひこ) 尚美学園大学
- 大橋 弘忠(おおはし ひろただ) 東京大学、プルトニウムは飲んでも安全
- 久保 恵一(くぼ けいいち) 監査法人
- 小林 英男(こばやし ひでお) 横浜国立大学
- 関村 直人(せきむら なおと) 東京大学、テレビ出演
- 山本 隆(やまもと たかし) 東京弁護士会
- 和気 洋子(わけ ようこ) 慶應義塾大学

原子力安全委員会

委員長 班目春樹(2010年4月 -)元東京大学

委員長代理 久木田豊(2009年4月 -)元名古屋大学
(委員)

- 。 久住静代(2004年4月 -)元放射線影響協会
- 。 小山田修(2009年4月 -)元(独)日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所所長
- 。 代谷誠治(2010年4月 -)元京都大学原子炉実験所
長

原子力村の組織、規制(指令)系統

- ◎東京大学を中心とする大学教授(御用学者)たち
原子力安全委員会、各種諮問委員会
- ◎経産省(原子力安全・保安院)⇒原子力施設安全情報
申告調査委員会、外郭機関⇒原子力安全基盤機構
- ◎日本原子力研究開発機構:旧日本原子力研究所、旧核
燃料サイクル開発機構が合体。もんじゅを推進。
- ◎電力会社
BWR:東京電力、中部電力、東北電力、中国電力、北陸電力、
日本原子力発電
PWR:関西電力、九州電力、四国電力、北海道電力、日本原子力発電
- ◎日立、東芝、三菱の原子力総合メーカー
- ◎建設会社、機器メーカー、検査会社等

原子力村の指令系統、身分制度、士農工商

- 一番上が官僚、二番目が電力、三番目が原子力総合メーカー、四番目が下請け会社
- 日本株式会社の原子力村支社長、部長、課長、係長の関係。ぼんくら支社長(官僚)と実力営業部長(東電)の関係が、原子力村の現状。技術部長不在。
- 即ち、西山英彦審議官に代表されるしろうと官僚と、裏で仕切る東京電力の関係。
- 日本株式会社、原子力村支社ではタテマエ上の「完全無欠」を押し通すため、事実隠蔽工作が多く行われる。**真実隠蔽打破**が私の裁判(公益通報)での目標。第二、第三の公益通報者を期待。

3.11以降、わかったこと(1)

- 国は国民の命より経済を優先すること
- 国は国民を簡単に見殺しにすること
- 国は放射能をばら撒くこと
- 国は都合の悪い人間を逮捕すること
- 国は法律を守らないこと
- 検察官、裁判官もグルだったこと
- マスコミは嘘の情報を流すこと
- マスコミは洗脳の道具だったこと

3.11以降、わかったこと(2)

- 重要な情報は隠ぺいされること
- 国民は簡単に騙されること
- 命より原発の利権を優先する輩が大勢いること
- 政治家は嘘しか言わないこと
- 政治家は保身の為なら何でもすること
- 政治家はただのあやつり人形だったこと
- 選挙結果は改ざんされること
- 日本は民主国家ではなかったこと

仏教(1)

- 光明遍照 十方世界 念仏衆生 攝取不捨 至心歸命 南無阿弥陀仏
- [現代語訳] 光明は、あまねく十方世界を照らし、念仏衆生(みなさん)を拾い上げ捨てない。心から念仏をして、全てを仏さまにおまかせしなさい。
- [意訳] 真実は、古今東西、全ての世界を照らし、明るい未来を約束する。真実を述べる人々は、ことごとく見つけ出され、見捨てられることはない。ウソをつかず、隠さず、心から真実のみを述べると、みんなが幸せになれる。

仏教(2)

- 真実遍照 十方世界 唱和衆生 攝取不捨 至心歸命 福島3号核爆発
- 急げ解明、福島3号核爆発、真実を信じる者こそ救われる。
- 福島3号核爆発の真実を唱和する者こそ、日本、さらには世界を救うことができる。
(原子カドンキホーテ)

日本語その1

- 上意下達(じょういかたつ)

上司が決めたことを部下が忠実に実行すること。

- 刑不上大夫(けいふじょうたいふ)

大夫(県知事クラスの役人)以上の役人には刑法は適用しない。

- 長いものには巻かれろ

- 泣く子と地頭には勝てぬ

- 無理が通れば道理引っ込む

- 上官の命令は天皇陛下の命令

• 「よらしむべし、しらしむべからず」は、武家社会、明治政府からの伝統文化。従わせるが、国民には知らせない。日本には「下意上達」という言葉がない。日本では全体主義が根付いている。「協調性(同調圧力)」を強いる。KY(空気を読めない)を排除。「村八分」「いじめ」が横行

日本語その2

- 日本では、伝統的に情報隠蔽、事実隠蔽が罪悪である意識が、とても薄い。
- 「ボトムアップ」「内部告発」「公益通報」は品質、安全の要(かなめ)。
- 官僚社会は「縦割り社会」、特に原子力村では、「上意下達」「トップダウン」だけ。事業者「公益通報」極小
- 行政組織「原子力安全公益通報」は藤原節男が初めて。日本で最初。

- (1) 知識見識胆識(安岡正篤やすおかまさひろ)。
原子力公益通報こそ胆識⇒より良い社会を作り出す。
- (2) 先ず、隗より始めよ。鶏口となるも、牛後となるな
かれ。曲突徙薪(きょくとつししん) 焦頭爛額(しょうとうらんがく)
- (3) 燕雀いずくんぞ鴻鵠の志を知らんや 陳勝
- (4) 手を打てば、魚集まる、鳥逃げる、娘は茶を持つ、
猿沢の池
- (5) Yes-manはダメ、No-manもダメ。But-manがよい。
- (6) good-manには、active-goodmanとpassive-goodman
がいる。しかし、bad-manには、active-badmanしか
いない。passive-goodmanは、active-badman に負
ける。active-goodmanでなければならない。

ドイツ映画「第八の戒律」

ヴァッカーズドルフ再処理工場反対運動

モーセ十戒「偽りの証言をするな」

カトリック教会・ルーテル教会の場合

- 1. わたしのほかに神があってはならない。
- 2. 主の名をみだりに唱えてはならない。
- 3. 主の日を心にとどめ、これを聖とせよ。
- 4. あなたの父母を敬え。
- 5. 殺してはならない。
- 6. 姦淫してはならない。
- 7. 盗んではならない。
- 8. 隣人に関して偽証してはならない。
- 9. 隣人の妻を欲してはならない。
- 10. 隣人の財産を欲してはならない。

【参考】

『偽証してはいけない』は、カトリック教会・ルーテル教会の場合は『第八の戒律』だが、正教会・プロテスタント（ルーテル教会以外）では『第九の戒律』

- 1. 主が唯一の神である
- 2. 偶像を作ってはならない（偶像崇拝の禁止）
- 3. 神の名を徒らに取り上げてはならない
- 4. 安息日を守る
- 5. 父母を敬う
- 6. 殺人をしてはいけない（汝、殺す無かれ）
- 7. 姦淫をしてはいけない
- 8. 盗んではいけない
- 9. 偽証してはいけない（嘘を言ってはならない）
- 10. 隣人の家をむさぼってはいけない

- 「第八の戒律」の映画監督

(ベルトラム・フェアハーク)

ドイツ、フランスであろうと、米国、ロシアであろうと、原子力業界は、

- ◎ どの国も同じように嘘を言っている。
- ◎ それは明白な嘘であるばかりでなく、
- ◎ 全く当たり障りのない日常茶飯事のように印象付けられた嘘でもある。
- ◎ 何も言わない(事実隠蔽)という嘘、真実を隠す嘘が一番やっかい。

• 明白な嘘

(嘘) 炉心メルトダウンは、 1×10^{-7} /炉年以下
1000万年に1度。(真) TMI、チェルノブイリ、福島で30
年で5回/約200炉=約1回/1000炉年

(嘘) 直ちに健康に影響がない。(真) 後で健康に影響。

(嘘) シャワー室に入る。(真) 毒ガス室に入る。

日常茶飯事のように印象付けられた嘘

事故発生頻度を考えると、原子力発電所の安全性は自動車事故よりも一万倍以上安全。一生に一本タバコを吸う程度(英国中央電力庁長官)。

• 全く何も言わない(事実隠蔽)という嘘⇒真実を隠す嘘
炉心損傷確率は、内的事象(機器故障、人的過誤)のみ対象。外的事象(地震、津波、航空機落下)は別。東電の事故データ隠蔽。過酷事故マニュアル塗りつぶし³⁶

マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの言葉

- 問題に沈黙するとき、我々の命は終わりに向かう。
- 最大の悲劇は、善人の沈黙。沈黙は、悪人の暴力と同罪。
- 沈黙、服従は、安易な道。しかし、卑怯者、犯罪者への道。
- 隣人、友人の沈黙は、我々が、いつまでも覚えている。
- 自由は、虐げられた我々が勝ち取るもの。圧制者は与えない。

未来の時間を破壊

- 哲学者である内山節さんの著書『文明の災禍』。原発事故が奪ったのは、住民の未来の時間である。人間の営みが、住民の未来の時間を破壊した。
- **殺人は被害者の未来の時間を破壊する。原発の事故は地域の未来の時間を丸ごと破壊する。「未来の時間を破壊することが平気な社会、それは恐怖に満ちた社会である」という哲学者の問い掛けは重い**
- 未来の時間を奪われた土地は「死の町」そのものである

ガンジーの碑文

小出裕章元京大助教、
2011年5月23日 参議院行政監視委員会
『七つの社会的罪』 Seven Social Sins

1. 理念なき政治 Politics without Principles
2. 労働なき富 Wealth without Work
3. 良心なき快樂 Pleasure without Conscience
4. 人格なき学識 Knowledge without Character
5. 道徳なき商業 Commerce without Morality
6. 人間性なき科学 Science without Humanity
7. 献身なき信仰 Worship without Sacrifice